

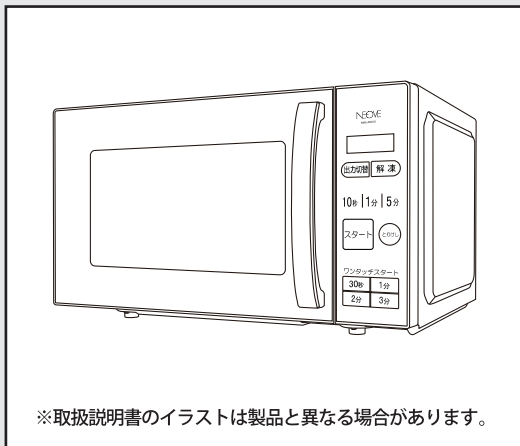
# 取扱説明書

## マイコン電子レンジ

### 型番 NMG-AM018

## 家庭用

- 業務用として使用しないでください。
  - 他の用途でのご使用はしないでください。
  - この商品は海外ではご使用になれません。
- FOR USE IN JAPAN ONLY



※取扱説明書のイラストは製品と異なる場合があります。

### 目次

- ◎安全上のご注意……………1～7
- ◎ご使用になる前に
  - ▼各部の名称と注意事項…………… 8
  - ▼準備と設置…………… 9
  - ▼使用可能な容器……………10
- ◎ご使用方法……………11～12
- ◎加熱時間の目安と、加熱時のポイント……………13
- ◎お手入れ方法…………… 14～15
- ◎故障かな?と思ったら……………16
- ◎仕様……………17
  - ▼転居されるときは……………17
- ◎保証規定、保証書……………巻末

●このたびは弊社製品「NMG-AM018」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の前に重要な安全に関する記載がされている本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。「保証書」は大切に保管してください。

**付属品** 取扱説明書/保証書  
(本書)



ガラス皿 (ターンテーブル)



回転受台

# 安全上のご注意

## ●ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しております。お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

■誤った使い方による危険や損害の程度を区分してご案内いたします。



### 危険

死亡や重傷を負うおそれ  
大きい内容



### 警告

死亡や重傷を負うおそれ  
ある内容



### 注意

障害を負うことや財産に  
損害が発生する内容

■お守りいただく内容を、図記号で区分してご案内いたします。



してはいけない禁止内容



指示を守る内容



注意をうながす内容

## ⚠ 危険



絶対に修理・分解・改造をしない

- ・感電、発火をしたり、異常動作をしてけがをする恐れがあります。故障と思われる時は、販売店、弊社サービスセンターまでご相談ください。
- ・故障と思われる時は、販売店、弊社サービスセンターまでご相談ください。



吸排気口など穴やすき間に金属物や異物などを入れない

- ・事故や火災、感電などによるやけどやけがの恐れがあります。
- ・異物が入った場合はすぐに電源プラグを抜き、販売店、弊社サービスセンターまでご相談ください。

## ■電源プラグ・電源コード・コンセントについてのご注意

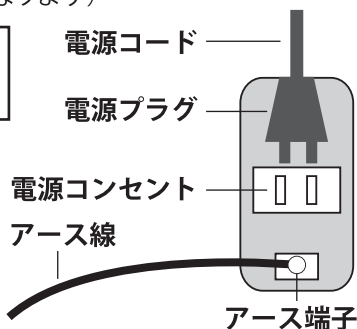
### ⚠ 警告



定格15A以上、交流100Vの  
コンセントを単独で使用する

- ・延長コードをご利用いただく場合も定格15A以上の延長コードを使用し、必ず単独で使用してください。  
(異常発熱の原因になります)

単独で使用してください



傷んだ電源コードや電源プラグ、  
ゆるんだコンセントは使用しない

- ・電源コードが破損した場合は、すぐに使用を中止し、販売店、弊社サービスセンターにご相談ください。  
修理が終わるまで絶対に使用しないでください。また、  
コードの交換は危険ですので、絶対に行わないでください。



電源プラグや電源コードを傷つけない

- ・加工や排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込むなどはしないでください。コードが破損し  
火災、感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ■電源プラグ・電源コード・コンセントについてのご注意（つづき）

### 警告



**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない**

・感電の原因になります。



**電源プラグや電源コードは定期的に掃除をする。**

・電源プラグにほこりがたまらない様に、定期的にほこりを取ってください。（本製品はトラッキング対策の電源プラグを使用しておりますが、ほこりがプラグにたまると絶縁不良を起こし発火の恐れがあります。）  
・ほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



**長期間使用しないときは電源プラグを必ず抜く**

・絶縁劣化による、漏電、感電、火災の原因となります。



**電源プラグは、根元まで確実に差し込む**

・感電や発熱による火災の原因になります。



**電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く**

・コードが破損し、火災・感電の原因になります。

## ■設置時のご注意

### 警告



**使用前に、包装材はすべて取り除く**

・包装材が使用中に発火し、火災・やけどの原因になります。



**次の場所では使わない**

・水のかかる場所や蒸気のでる機器の近く  
感電や漏電の原因となります。  
・火気の近く  
火災の原因となります。  
・不安定な場所  
落下によるけが、感電、商品の破損の恐れがあります。



**熱に弱いものを近くに置かない**

・たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上などに設置しないでください。また、カーテンなど燃えやすいもの、スプレー缶などガスが充填されているものも近づけないでください。



**包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管、または廃棄する**

・頭からかぶるなどをすると、口や鼻を塞ぎ窒息する原因になります。

# 安全上のご注意

## ■設置時のご注意（つづき）

### ⚠ 警告

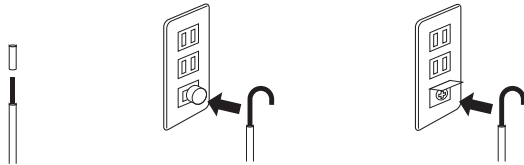


アース線は確実に取り付ける。

故障や漏電の時に感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。

#### ●アースコンセントがある場合

・アース線が本体のアースネジにしっかりと接続されていることを確認してからアース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなげる。電源プラグを抜いた状態で接続してください。



アース線先端の被覆を取り外す。

●つまみタイプ  
つまみを緩めネジ部分に先端を巻きつけ、つまみをしめる。

●フタ付きタイプ  
フタをあけてドライバーでネジを緩めネジ部に巻きつけネジをしめてフタを開める。

#### ●アースコンセントがない場合

**ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線は絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています）**

- ・アース端子が無い時は、お買い上げの販売店にご相談ください。（本体価格に工事費は含まれません）
- ・次の場合は電気工事士の資格のある者による「D種接地工事」が義務付けられています。
- 湿気の多い場所：しょうゆの貯蔵庫、空調設備のない場所、コンクリート床など
- 水気のある場所：水の飛び散るところ、土間、地下室（漏電遮断器も取り付け）など結露の起こりやすいところ

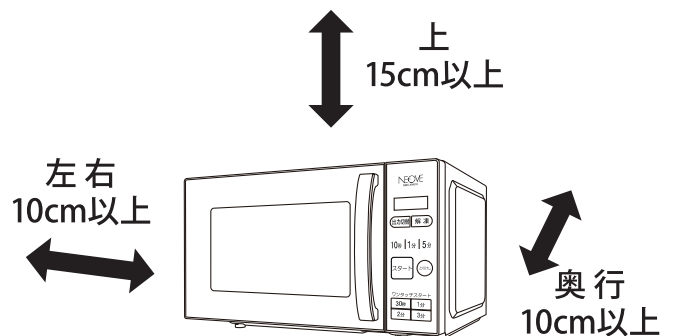
### ⚠ 注意



設置するときは壁等との間を充分に取り、安定した場所に置く。

故障や漏電の時に感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。

- ・熱に弱い材質の壁、家電製品、家具、コンセントがある場合は、右記の記載寸法以上に隙間をあけて設置してください。壁等が過熱され、発火、発煙、変色の恐れや、本体の故障の原因となります。
- ・後方がガラスの場合、温度差で割れる恐れがあります。20cm以上あけてください。
- ・排気による壁の汚れや結露が気になる場合は、壁との距離をあけるか、壁面にアルミホイルなどを貼ると壁の汚れや蒸気の影響を軽減できます。
- ※アルミホイルは本体には貼らないでください。
- ・落下の恐れがありますので、はみ出さないように設置してください。



十分な強度を持った安定した場所に置く

- ・強度が不十分なテーブルや不安定な場所に置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。また、結露水が床にこぼれる恐れがあります。万が一地震などで転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用せず、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。

# 安全上のご注意

## ■ご使用中のご注意

### 警告



#### 異常動作・故障時は直ちにご使用中を中止する

※異常・故障例

- ・ガラス皿が回転しない。
- ・電源コードやプラグが異常発熱する。
- ・異常な動作音がある。
- ・温めている食品以外の臭いがする。
- ・扉が上手く閉まらなくなったり、がたついている等。
- ・タイマーが「切」にならないことがある。
- ・スパーク（火花）または煙が出ることもある。
- ・触れると電気を感じる。

**異常動作を起こした場合、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、販売店、弊社サービスセンターに点検、修理をご依頼ください。**



#### 使用中に、電源プラグを抜き差ししない

- ・電源プラグの抜き差しをすると火花が発生し、火災、感電の原因になります。



#### 食品以外の加熱は絶対に行わない

- ・加熱・異常動作して、やけど、けが、破損、火災の原因になります。衣類、布巾類、市販のレンジ加熱用湯たんぽ、哺乳瓶（消毒バッグ）、カイロ、風呂湯保温機などを加熱しないでください。



#### 本体の上は高温になるため、物を置いたり、近付けない

- ・過熱し、変形・焦げ・発火・火災の原因になります。



#### 吸気口や排気口をふさがない

- ・包装材が使用中に発火し、火災・やけどの原因になります。



#### 扉に無理な力や衝撃を加えない

- ・扉が変形し、電波漏れによる人体障害の恐れがあります。
- ・扉にぶら下がったり、乗ったりすると、本体が転倒、落下しけがの原因になります。



#### 取り扱いに不慣れな方やお子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは絶対に使用しない

- ・感電、やけどやけがの原因になります。
- ・特に加熱中、加熱直後はお子様から目を離さないでください。感電、けが、やけどの原因になります。

### 注意



#### 扉にものをはさんだまま使用しない

- ・電波漏れによる、人体障害や発火の恐れがあります。



#### 扉や扉付近が破損した場合はすぐに使用中を中止する

- ・扉や扉付近、または扉のシール面に破損がある場合はすぐに使用中を中止して、販売店、弊社サービスセンターにご相談ください。電波漏れの恐れがありますので、修理が終わるまで、絶対に使用しないでください。



#### 庫内で食品が燃えたり煙が出たりした場合は扉は開けない

- ・扉を開けると酸素が入りいきおい良く燃え始める恐れがあります。※庫内で食品が燃えてしまったり、煙が出た場合は次の通りに処置をしてください。
  1. 扉を閉めたままタイマーを「切」にする。
  2. 電源プラグを抜く。
  3. 本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
  4. 鎮火しない場合は消火器や水等で消火を行ってください。※絶対にそのまま使用せず、販売店、弊社サービスセンターに点検、修理を依頼してください。

# 安全上のご注意

## ■ご使用中のご注意（つづき）

### ⚠ 注意



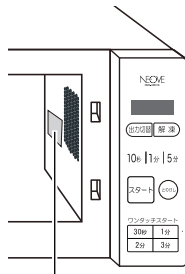
**ガラス皿、庫内、扉のガラスにものをぶついたり衝撃を与えない、回転受台を手で無理に回さない**

- ・破損、けがの原因になります。
- ・容器や茶碗の出し入れの際は、ガラス皿のふちやドアのガラスにぶつけないようにしてください。ガラスに傷が付くと使用中に破損することがあります。



**保護板は絶対に外さない**

- ・保護板は絶対に外さないでください。汚れが付着した場合はきれいにふき取ってください。
- ・保護カバーを外して使用すると火花が飛び散るなどの故障の原因となります。



保護板

※製品とイラストは異なる場合があります。



**使用中のご注意**

- ・扉がしっかり閉まった状態でご使用ください。扉がしっかり閉まっていないと安全装置（インターロック）が働いて動作しません。
- ・扉の開閉は必ずタイマーを「切」にして停止させてから行ってください。
- ※動作中に扉を開けると安全装置が働いて動作は停止しますが、安全装置での動作ですので扉を閉じると再び動き始めます。開閉は必ずタイマーを「切」にしてから行ってください。
- ・市販のレンジ用品を利用した事により発生した不具合や本体の故障は保証対象外となります。



**操作ボタンを押す際にはボタンの中心部を押す。また、操作ボタンを強く押しすぎない。**

- ・故障の原因になります。

## ■レンジ使用時のご注意

### ⚠ 警告



**食品は加熱しすぎない**

- ・食品の分量に対して加熱時間が長いと発煙、発火、火災の原因になります。
- ・加熱する場合は「加熱時間の目安（13ページ）」を参考に時間を控えめに設定し、様子を見ながら加熱してください。
- ・少量の加熱、油のついた食品（バター付きパン、フライなど）、水分の少ないもの（ポップコーンなど）、根菜類（さつまいも、人参など）、高温になりやすい食品（あんまんなど）は充分にお気をつけください。



**缶詰、瓶詰、袋詰、レトルト食品、真空パック入り食品は移し替える鮮度保持剤（脱酸素剤）は取り除く**

- ・発火、破裂、破損、けが、やけどの原因になります。



**液体の加熱には十分に注意する。**

- ・飲み物など液体を加熱すると、突然沸騰して飛び散る『突沸』の恐れがあります。加熱後の容器の取り扱いには充分注意してください。
- ・加熱時間は短めに設定し、中の様子を確認しながら調理を行ってください。
- ・背が低く、口の広い容器を使ってください。
- ・加熱しすぎた場合は、そのまま2分以上おいて庫内で冷ましてから取り出す
- ・加熱前、加熱後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。

飲み物：コーヒー、牛乳、豆乳、水、ヨーグルト、などの液体、味噌汁などの汁物  
油脂の多い食品：生クリーム、バターなど  
とろみのある食品：カレー、シチュー、粒入りスープなど



# 安全上のご注意

## ■レンジ使用時のご注意（つづき）

### 警告



#### 乳幼児の離乳食や介護食等の あたためは仕上がりを良く確認する

- ・中身をよくかき回し、やけどをしないように温度を調節してください。思わぬ高温になっている場合があります。やけどの原因になります。



#### 密閉された容器で加熱を行わない

- ・液体、その他の食品を密閉された容器に入れて加熱しないでください。破裂の恐れがあります。
  - ・ビンや容器は蓋を外し密閉状態で加熱しないでください。
- ※加熱中に破裂などを起こす危険があり、やけどやけが、機器の故障の原因となります。



#### 電子レンジで使用できる 容器だけを使用する

- ・金属容器、金串、アルミホイルなどは使用しないでください。
- ・食品をプラスチックや紙の容器に入れて加熱する場合は、発煙、発火の可能性があります。電子レンジから目を離さないでください。



#### 殻、膜のある食品は切れ目を入れる、 殻付きの卵は加熱しない

- ・殻つきの卵やゆで卵は破裂の恐れがありますので、絶対に加熱しないでください。加熱する場合は割りほぐしてください。また、加熱が終わった後でも破裂の危険性があります。
- ・膜のある食品、銀杏、いか、栗、ソーセージなどは必ず切れ目を入れてください。



#### 使用中にブレーカーが落ちたり、停電 した場合、電子レンジの電源プラグを コンセントから抜き、ボタンを押し、 電源が回復したら改めて調理してく ださい。

- ・故障、発火の原因になります。

### 注意



高温注意

#### 食器や食品を取り出す時や、 ラップを外す時などは注意する

- ・高温になっていたり、ラップを取り外す時に蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



#### 食品の出し入れや付属品の取り出し には市販のミトンを使う

- ・直接接触すると、やけど、けがの原因になります。破れたり、濡れたミトンは使用しないでください。



水ぬれ禁止

#### 使用中や使用後は、扉、ガラス皿 などに水をかけたり、急に冷却しない

- ・割れてけがをしたり、変形の原因になります。発生する蒸気やしぶきで、やけどの原因になります。



#### 庫内が空のままで加熱しない

- ・火花がでたり、本体や庫内が異常に加熱され高温になり、やけどの原因になります。長時間の加熱や少量食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になります。加熱終了直後は庫内に触れないでください。



#### 加熱中、加熱後は本体前面ガラス、側面、 天面、後面などの高温部には触れない。

- ・高温のため、やけどの恐れがあります。



#### アルミホイル・金属容器・金串・金属ひも・ アルミテープ・アルミなど金属で表面加工 された容器や袋は使わない

- ・火花が発生し、扉のガラスの割れなどでけがの原因になります。

# 安全上のご注意

## ■お手入れについて

### 警告



**お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う**

・感電、けが、やけどの原因になります。



**庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない**

・庫内に付着した油類や食品カスはこまめにふき取ってください。発火、発煙等の恐れやさびの原因になります。



**電子レンジは常に清潔にたもつ**

・電子レンジ表面の汚れや損傷が、機器に悪影響を及ぼし、故障の原因になり、場合によっては危険な状態になる恐れがあります。

## お願い

### ●テレビ、ラジオ、アンテナ線などから4m以上はなしてください

画像や音声などが乱れる原因になります。

### ●製品の近くでは無線LAN機器の通信性能が低下する場合があります

無線LAN機器の取扱説明書をお読みの上、ご使用ください。

### ●熱や蒸気の発生する場所から距離をとる

炊飯器、ポットなどの蒸気が、本体の操作部にかからないようにしてください。故障することがあります。

### ●本体を移動する際は気をつける

製品を左右から抱きかかえるようにしっかりと持って、移動してください。

## 加熱の仕組み

### ●電波で食品を加熱します。

・金串などの金属製の物は使用できません。

### ●電波の性質

- ・電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子の摩擦運動が起こります。その結果、熱が発生し、内部と外部が同時に加熱されます。
- ・陶器や磁器などは電波を通す為、使用できますが、金属製の容器や、アルミニウムのレトルトパックなどは電波を反射する為、使用できません。

## 調理のヒント

### ●加熱時間

- ・食品の分量にほぼ比例します。
- ・分量を半分にしたら加熱時間も約半分になります。

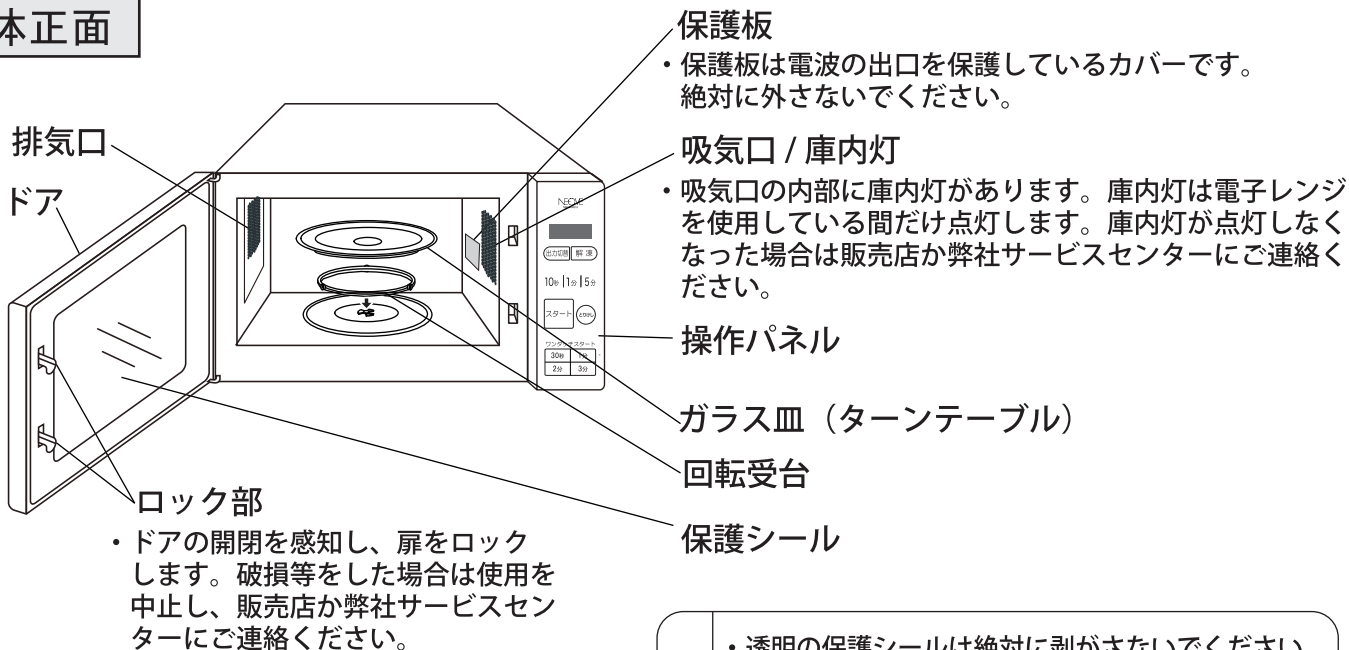
### ●レンジ加熱

- ・食品の水分が飛び、乾燥したり、固くなりやすいので、時間は短めに設定して、様子を見ながら加熱してください。



# ご使用になる前に（各部の名称と注意事項）

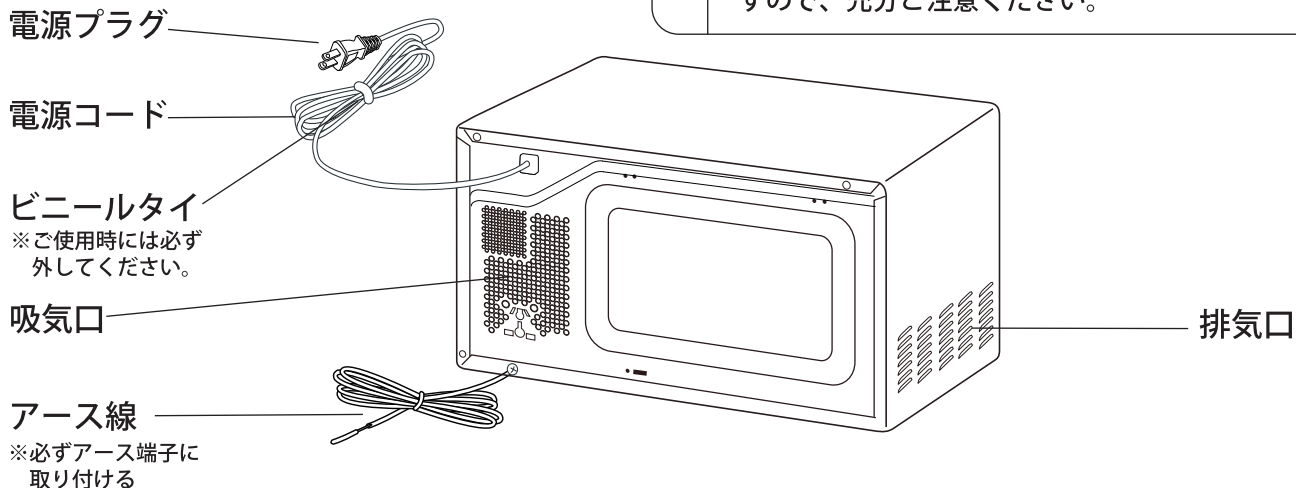
## 本体正面



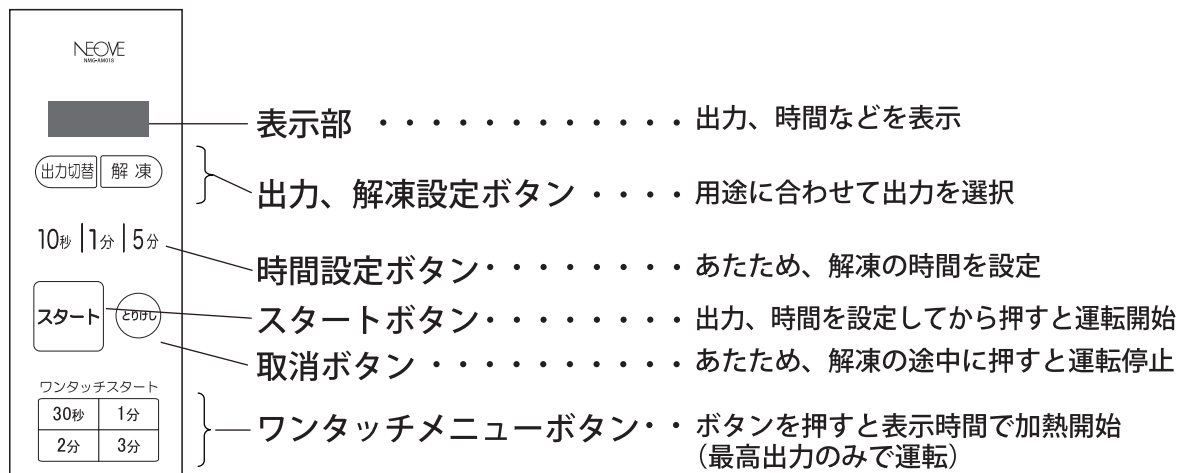
△ご注意

- ・透明の保護シールは絶対に剥がさないでください。電波漏れなどの原因になります。
- ・電源プラグを抜くときはコードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- ・吸気口や排気口付近に物を置かないでください。また、吸気口や排気口は定期的に掃除を行ってください。特に排気は高温になる場合がありますので、充分ご注意ください。

## 本体背面



## 操作パネル

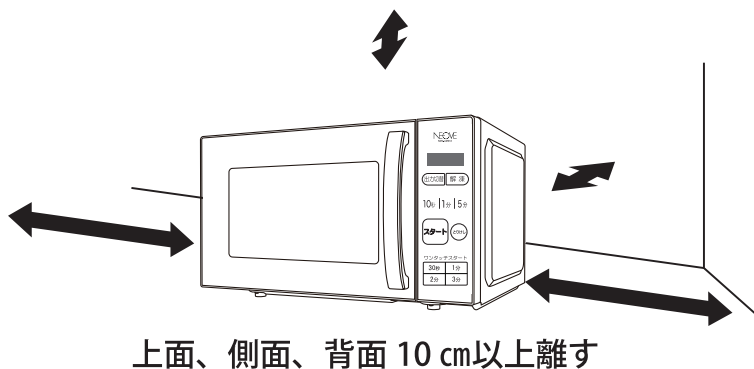


# ご使用になる前に（準備と設置）

お買い上げの本製品は初めてご使用になる際は本取扱説明書以外のガラス皿、回転受台などすべての付属品が同梱されているか、必ずご確認ください。

## 設置手順

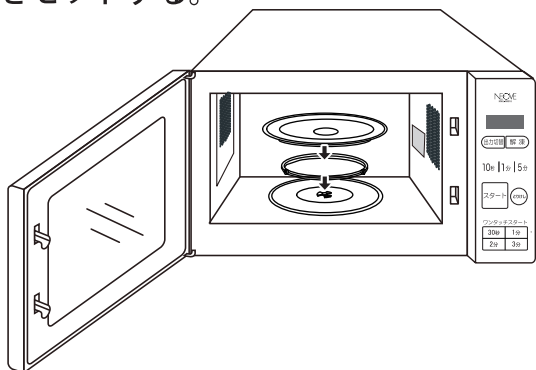
1. 本体を箱から取り出し、壁、家具などとの間を充分に開けて設置する。



⚠  
ご注意

- 必ず水平な場所に設置してください。
- 高温、湿気の多いところに設置しないでください。  
故障、誤動作の原因になります。
- 本体はテレビ、ラジオから4m以上離して設置してください。  
画像や音声などが乱れる原因になります。
- 本体の近くでは無線機器(無線LANなど)の通信機能が低下することがあります。  
無線機器の取扱説明書などをよくお読みのうえ、ご使用ください。

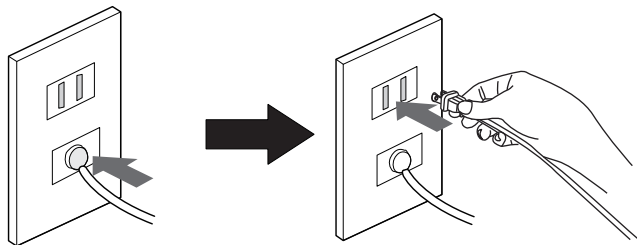
2. 回転受台を庫内底面に正しくセットしてから、回転受台の上にガラス皿（ターンテーブル）をセットする。



⚠  
ご注意

- 使用時にはガラス皿の汚れ、水分はよくふき取ってください。  
発煙、発火の原因になります。
- ガラス皿に衝撃を与えないでください。特に容器の出し入れのときガラス皿のふちに当たらないようにしてください。  
破損してけがをする原因になります。

3. アース線は必ず取り付けてから電源プラグをしっかりとコンセントに差し込む。  
アース付きコンセントがない場合はアース線の工事を行ってください。  
アース線の工事のご相談はお買い上げの販売店や電気店にご相談ください。



アース線を取り付ける 電源プラグを差し込む

- 次の場合は電気工事士の資格のある者による「D種接地工事」が義務づけられています。  
※ 湿気の多い場所：醤油の貯蔵庫、空調設備のない場所、コンクリート床など  
※ 水気のある場所：（漏電遮断器も取り付ける）水の飛び散るところ、土間、地下室など結露の起こりやすいところ



警告

- ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線には絶対に接続しないでください。  
法令で禁止されています。
- 定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
- 庫内右側にある保護カバーや扉内側にある透明な保護シールを絶対にはがさないでください。
- ブレーカーの容量は必ず定格消費電力以上に余裕を取ってください。

# ご使用になる前に（使用可能な容器）

ガラス	耐熱性がある	○	<b>使えます</b> ●最も適しています。 温度変化が激しいと割れたりすることがあります。
	耐熱性がない	×	<b>使えません</b> ●カットガラスや強化ガラスなどは使えません ●ガラスの厚みの変化が大きなものやひずみのあるものも使えません。
陶磁器・漆器	陶器、磁器	○	<b>使えます</b> ●使えないものがあります。 温度変化が激しいと割れたりすることがあります。 <small>※絵柄やひび、金銀模様のあるものは痛んだり、火花が飛ぶことがあるので使えません。</small>
	漆器	×	<b>使えません</b> ●塗りがはげたり、ひび割れして使えません。
プラスチック容器	耐熱性がある (耐熱温度140℃以上)	○	<b>使えます</b> ●「電子レンジで使用可能」の表示があるものが使えます。 ご使用の際は必ず耐熱温度をご確認ください。 <small>※使用可能な耐熱プラスチックでも変形をしたり溶けたりする場合があります。                      ※砂糖・バター・油を多く使った料理は、耐熱温度より高温になりやすく溶ける恐れがあるため使えません。</small>
	耐熱性がない (耐熱温度140℃未満)	×	<b>使えません</b> ●溶けて変形したり、割れたりすることがあります。 ●ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂などは使えません。
金属	アルミ・ホーローなどの金属	×	<b>使えません</b> ●火花が飛ぶので使用できません。金網、金串、金属のフィルム、針金が入ったものは基本的には使えません。
その他	木材・竹・紙製品	×	<b>使えません</b> ●焦げたり、燃えたりする恐れがありますので使えません。
	耐熱性があるラップ (耐熱温度140℃以上)	○	<b>使えます</b> ●砂糖・バター・油を多く使った料理は、耐熱温度より高温になりやすく溶ける恐れがあるため使えません。 ●ポリエチレン製のラップは、溶けて燃えることがあるので使えません。

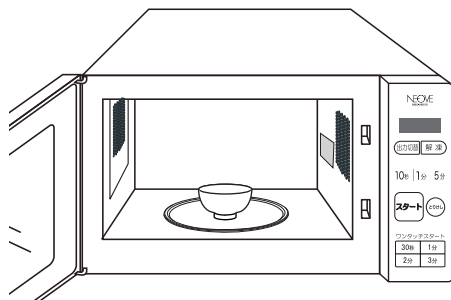


**警告**

- 食品を温めるときは、必ず耐熱性のある食器などに乗せてから行ってください。付属のガラス皿には食品等を直接乗せないでください。
- 電子レンジは高周波発生器から発生させる電波により、食品内の水分を振動させて発熱させます。上記に記載がない容器でも、水分を含む材質のものはすべて加熱されます。電子レンジは食品を短時間に加熱させますので、耐熱性のある容器でも、急激な温度上昇によって破損する恐れもあります。特にプラスチック等は発火の恐れがありますので、十分に注意してご使用ください。また、食品以外の加熱は絶対に行わないようにしてください。

# ご使用方法

1. 食品を容器に入れて庫内ガラス皿の中央に置き、ドアをしっかり閉める。  
ガラス皿には食品等を直接乗せず必ず容器や皿に入れてからあたためます。



ガラス皿の中央に置く

△  
ご注意

- ・スイッチを入れるタイミングにより ガラス皿は左右どちらかに回転しますが、異常ではありません。
- ・食品が庫内にぶつからないようにしてください。回転できない場合は、回転できるサイズの容器に必ず移し替えてください。異常加熱や故障の原因となります。

2. 用途に合わせて **出力切替** **解凍** ボタンを押す。

**出力切替** を押して出力を合わせます。

50Hz : 520W、500W

60Hz : 650W、500W

※最大出力 (50Hz:520W、60Hz : 650W) で加熱する時は出力切替の操作が不要です。

**解凍** を押して肉類など冷凍食品を解凍します。

出力切替

解凍

△  
ご注意

- ・出力表示は高周波出力装置 (マグネトロン) の出力表示であって、消費電力量の表示ではありません。実際の消費電力とは異なりますのでご注意ください。

3. 食品に合わせて調理時間を設定する。

出力切替を押してあたためる場合、最長で 15 分まで設定できます。

解凍の場合のみ最長 30 分まで設定できます。

「出力切替」をしないで調理時間を設定した場合、最大出力 (50Hz:520W、60Hz : 650W) で加熱します。

調理時間設定の途中に「出力切替」をしたい場合は **とりけし** ボタンを押してから設定します。

10秒 | 1分 | 5分

10秒

10 ~ 50 秒を 10 秒単位で設定します。  
50 秒の次は 0 秒に戻り、繰り上がりはしません。

1分

1 ~ 15 分 (解凍は 30 分) を 1 分単位で設定します。  
15 分 (解凍は 30 分) の次は 0 分に戻ります。

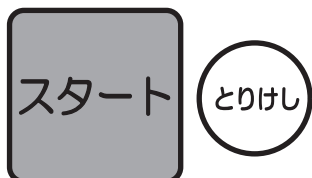
5分

5 分、10 分、15 分 (解凍はさらに 20 分、25 分、30 分) を設定します。15 分 (解凍は 30 分) の次は 0 分に戻ります。

4. **スタート** ボタンを押す

**スタート** ボタンを押すと運転を開始します。

タイマーが切れる前に停止したい場合は **とりけし** ボタンを押します。



△  
ご注意

- ・加熱中でもドアを開けると安全装置が働き、停止しますが、加熱を停止するときは必ず「取消」ボタンを押してください。

# ご使用方法

## 5. できあがり

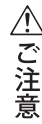
「ピーピーピーピー」となって庫内灯が消え、表示部が「End」表示になったらできあがりです。できあがり後、ドアを開閉するか、「とりけし」ボタンを押さないと1分ごとに「ピーピーピーピー」となります。

### ワンタッチスタート

ボタンを押すとボタンの表示時間と最大出力で素早く加熱を開始します。ワンタッチスタートボタンは2回以上押しても1回目の操作で加熱開始します。2回押しても加熱時間は倍になりません。

### ワンタッチスタート

30秒	1分
2分	3分



- 加熱後は容器が熱くなっているので充分ご注意ください。
- 待機状態が1分間続くと、表示部のバックライトが消え、すべての操作ボタンが無効になります。ドアを開けると再び点灯して操作することができます。

### 加熱時のポイント

- ガラス皿に直接食品を置かずに必ず容器や皿に乗せて加熱します。
- 量が多いときは分けて加熱したほうが上手に仕上がります。
- ラップをするときは少しゆとりをもたせてかぶせます。
- ご飯やカレーなどは平たく均一に一人前ずつ包んで冷凍しておくとうまいあたたまります。
- 飲み物をあたためるときはフタやラップをせずに入れる量は容器の8分目程度にしてください。
- 市販の冷凍食品などのあたためは、パッケージの指示に従って様子を見ながら加熱してください。
- お弁当をあたためるときは醤油などの入った容器・丸ごとのゆで卵・アルミケースなどは取り出してから様子を見ながら加熱してください。
- ラップをするもの：煮物、蒸しもの、汁もの、調理済みの冷凍食品全般などしっとり仕上げたい場合  
ラップをしないもの：ご飯もの、揚げ物、焼きもの、炒めものなど水分を飛ばしぎみにしたい場合



# 加熱時間の目安と加熱時のポイント

## 警告

### ●食品・飲み物は加熱しすぎないでください

・次のものは加熱しすぎると発煙・発火・やけどの恐れがあります。  
あんまんやまんじゅうの「あん」、乾燥したものと水分の少ないもの、根菜類のごぼうやレンコンなど、いかなどはじけやすいもの  
・飲み物は加熱後取り出したあと、突然の沸騰による飛び散りなどでやけどの恐れがあります。タイマーを短めに設定し、様子を見ながら加熱してください。

●密閉されている食品は必ず容器に移して加熱してください。

●加熱後は容器は熱くなっているので、鍋つかみなどで気をつけて取り出してください。

●ラップをする場合は少しゆとりを持たせてかぶせます。

■加熱時間は、500Wで加熱した場合の目安です。

・市販の冷凍食品や加工品は、パッケージの記載内容を参考にして、様子を見ながら加熱してください。

	食品名	分量	加熱時間	ポイント
常温もの・冷蔵もの	冷や飯(冷蔵)	お茶碗1杯(150g)	1分～1分30秒	
	おにぎり	1個(100g)	約30秒	
	ハンバーグ	1個(100g)	約1分	
	野菜煮物	1個(150g)	約1分30秒	
	お弁当	1個(400g)	約2分	調味料の入った容器やカットされていないゆで卵、アルミカップなどを取り出す。
	肉まん・あんまん	1個(90g)	40秒～1分	
	しゅうまい	8個(150g)	約1分	加熱前に、少量の水をかけ、ゆとりを持ってラップに包んで加熱してください。
	バターロール	3個(約80g)	約20秒	時間が経つと固くなるので食べる直前に加熱してください。
	味噌汁	1杯(150ml)	約1分30秒	加熱前、加熱後に、スプーンなどでよくかき混ぜてください。
	牛乳	1杯(150ml)	約1分	加熱前、加熱後に、スプーンなどでよくかき混ぜてください。
	酒かん	1杯(180ml)	約1分	
冷凍もの	ご飯(冷凍)	お茶碗1杯(150g)	約2分	
	ピラフ	1人前(250g)	約4分	ゆとりをもたせてラップをかぶせます。
	ミニえびフライ	4尾(60g)	約1分	
	ミニハンバーグ	2個(45g)	約1分	
	しゅうまい	1袋(170g)	約3分10秒	加熱前に、少量の水をかけ、ゆとりを持ってラップに包んで加熱してください。
	焼きおにぎり	1個(約80g)	約1分40秒	
	ミックスベジタブル	100g	約2分30秒	小さく切ったにんじんなどの少量加熱は、火花が出ることがあります。100gより少ない場合は、容器に入れた野菜50gに少量の水(中さじ1)をかけ、ラップをして約1分30秒加熱してください。

## 加熱のヒント

- ・加熱時間は食品の分量に比例します。分量を半分にしたら加熱時間も約半分になります。
- ・厚みや高さのある食品は、途中でひっくり返して再度加熱して様子を見ながら加熱してください。
- ・ごはんやカレーなどは平たく均一に一人前ずつ包んで冷凍しておくとうちにあたたまります。
- ・飲み物のあたためるときはフタやラップをせずに入れる量は容器の8分目程度にしてください。

### ラップ使用目安

- ラップをするもの：煮物、蒸しもの、汁もの、調理済みの冷凍食品全般などしっとり仕上げたい場合
- ラップをしないもの：ご飯もの、揚げ物、焼きもの、炒めものなど水分を飛ばしぎみにしたい場合



# お手入れ方法

庫内や扉内側の汚れは、発煙、発火、ガラス皿の破損の原因となりますのでこまめにお手入れを行ってください。

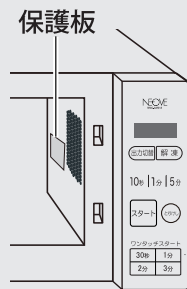
## 警告

- 本体のお手入れは、電源プラグを抜き、電子レンジ本体や庫内が十分に冷えていることを確認してください。
- 庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しないでください。汚れた部分に電波が集中して火花の発生、発煙、発火の恐れやさびの原因になります。付着した場合は、本体が冷めてから拭き取ってください。
- 本体の水洗い、丸洗いは絶対にしないでください。

## 注意

- 保護板は絶対に外さないでください。保護板を外して使用すると火花が飛び散るなどの故障の原因になります。

※製品とイラストは異なる場合があります。



- お手入れの際は台所用洗剤（中性洗剤）以外はお使用にならないでください。損傷、変色、変形、発熱、発火、サビの原因になります。

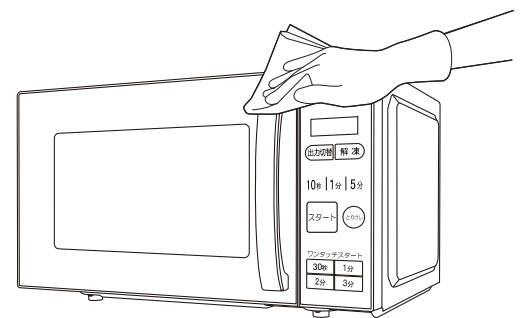
以下のものはご使用にならないでください。

- ・ベンジン/シンナー
- ・オープンクリーナー/粉末クレンザー/漂白剤
- ・住宅家具用洗剤（アルカリ、酸性など）
- ・可燃性ガス（LPGなど）入りスプレー洗剤
- ・たわし/金属たわし/固めのスポンジ、研磨剤入りナイロンたわし
- ・熱湯

## 本体外側／扉

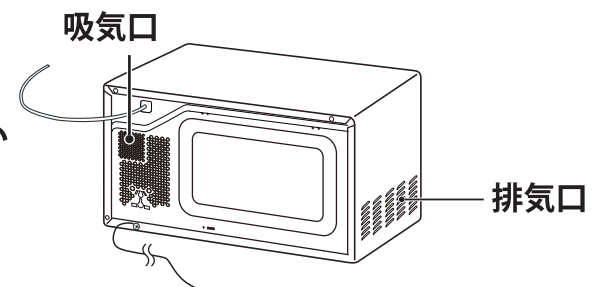
吸気口や排気口に水や洗剤をこぼさないようにご注意ください

- ・よく絞ったふきんで拭いてください。汚れが取りにくい場合は、薄めた中性洗剤をしみこませて拭き、洗剤が残った場合はきれいに拭き取ってください。
- ・吸排気口についたほこり等は乾いた布で定期的に取り除いてください。
- ・扉の内側や扉のロック部もよく絞ったふきんで拭いてください。



## お願い

- 本体および電源プラグ、電源コードは水に浸けたり、水洗いしたりしないでください。
- 排気口、吸気口のコホリは、乾いた布で拭き取ってください。故障や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグ、コードを取り扱わないでください。感電の原因になります。



## 電源プラグ・電源コード

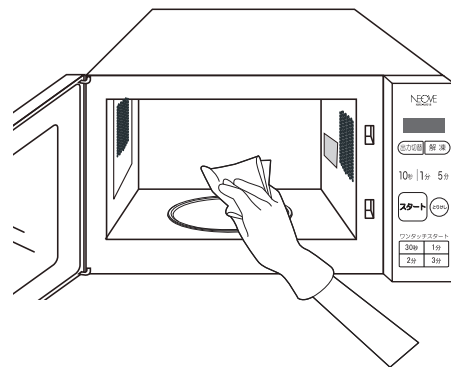
- ・乾いた布でから拭きしてください。

# お手入れ方法

## 庫内

### 吸気口や排気口に水や洗剤をこぼさないようにご注意ください

- よく絞ったふきんで拭いてください。汚れが取りにくい場合は、薄めた中性洗剤をしみこませて拭き、洗剤が残った場合はきれいに拭き取ってください。
- 庫内底面はガラス皿（ターンテーブル）と回転受台を外して、きれいに汚れをふき取ってください。
- 保護板（電波の出口）は破損しないように、やさしく水拭きしてください。
- 汚れがついたまま使用しないでください。



## ガラス皿

- ガラス皿（ターンテーブル）はスポンジなどで洗い、水分をしっかりとふき取ってください。
- 落ちにくい汚れはガラス皿にクリームクレンザーを少しつけ、丸めたラップでこすり落としてください。それでも汚れが落ちない場合はガラス皿を水で薄めた漂白剤に一晩つけてください。



## お願い

### ●ガラス皿は、使用後、急冷しないでください

破損、変形の原因になります。

### ●ガラス皿は、金属たわしや先の尖ったものでこすったり、落としたりしないでください。

傷ついたり、割れる原因になります。

# 故障かな？と思ったら

- 修理に出す前に、下記の点をご確認ください。  
また、不明な点は弊社サービスセンターにご相談ください。

症 状	考えられる原因
レンジが動かない (庫内灯が点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 停電していませんか？</li><li>・ ブレーカーが落ちていませんか？ ⇒その他お使いの電気製品をご確認してブレーカー容量内でお使いください。(P9参照)</li><li>・ 扉はしっかり閉まっていますか？ ⇒扉をしっかりと閉めてください。(P11参照)</li><li>・ 電源プラグが抜けていませんか？ ⇒電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(P9参照)</li></ul>
使用中、レンジの窓がくもったり、水滴が付いたりする	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食品からでた水蒸気の大部分は排気口から排出されますが、場合によってはレンジの窓に付着し、くもりの原因になります。 ⇒ふきんで拭き取ってください。(P14参照)</li></ul>
ガラス皿が回転しない、 回転にむらがある	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 回転受台、ガラス皿は正しくセットされていますか？ ⇒正しくセットし直してください。(P9参照)</li><li>・ 回転受台に食品カスや油などが詰まっていますか？ ⇒拭き取ってください。(P15参照)</li><li>・ 食品や容器が庫内にぶつかっていませんか？ ⇒庫内に触れないように置き直してください。(P11参照)</li></ul>
調理中に音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガラス皿は正しくセットされていますか？ ⇒正しくセットしてください。(P9参照)</li><li>・ レンジ加熱中に「ブーン」や「カッ」と音がすることがありますが、これは加熱動作を制御しているためであり、故障ではありません。 ⇒そのままお使いください。</li></ul>
火花が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 金属容器やアルミホイルなどを使用していませんか？ ⇒使用できる容器に変えてください。(P10参照)</li><li>・ 食品カスなどが付着していませんか？ ⇒取り除いてください。(P15参照)</li><li>・ 金粉や銀粉など飾りのある容器を使用していませんか？ ⇒使用できる容器に変えてください。(P10参照)</li></ul>



※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターへご連絡ください。

# 仕様

型番	NMG-AM018	区分名	A(単機能レンジ)
定格消費電力	50Hz：970W 60Hz：1320W	電子レンジ機能の年間消費電力量	60.1kWh/年
定格高周波出力	50Hz：520W 60Hz：650W	年間待機時消費電力量	0.0kWh/年
発振周波数	2450MHz	年間消費電力量	60.1kWh/年
定格電圧	AC100V	外形寸法*	約452×380×262mm(幅×奥行×高さ)
定格周波数	50Hz/60Hz	庫内寸法	約295×314×180mm(幅×奥行×高さ)
ターンテーブル直径	約270mm	重量	約12kg
タイマー	15分(解凍30分)	コード長	約1.4m

※取っ手含む

- 本機の仕様及び取扱説明書、保証書の記載は予告なく変更する場合があります。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による値を表示しております。
- 区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、及び庫内容積の違いで分かれています。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変化します。
- この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

<p>点検のお願い</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>愛情点検</b></p>  </div>	<p>●長年ご使用の電子レンジの点検を！！</p> <p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コード、プラグが膨れる、変形や変色、破損している。</li> <li>・電源コード、プラグがいつもより熱くなったりこげくさいにおいがする。</li> <li>・調理を開始しても食品が加熱されない。</li> <li>・使用中に異常な動作をしたり、音や振動がする。</li> <li>・自動で電源が切れないことがある。</li> <li>・ドアに著しいガタや変形がある。</li> <li>・本体に触ると電気を感じる。</li> <li>・その他の異常・故障がある。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを外し、必ず販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。</p> </div>
---	--

## ご転居されるときは

本製品は電源周波数が50Hz及び60Hzに自動対応しています。  
日本国内の周波数が異なる地域に引っ越しされてもそのままお使いいただけます。

- 製品の廃棄について  
廃棄の際は、各地方自治体の条例などの定めに従って廃棄してください。